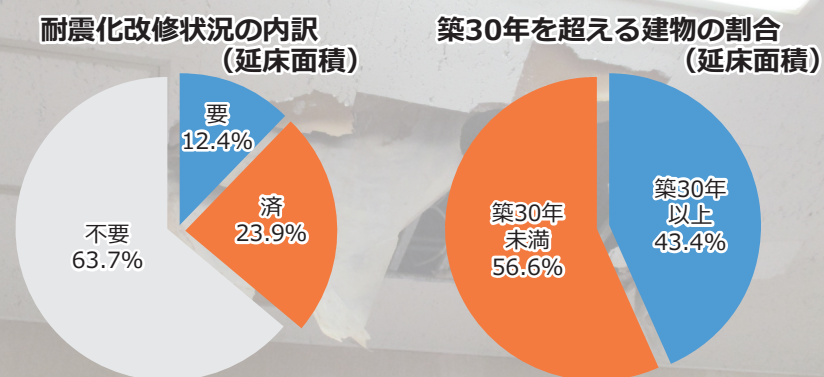
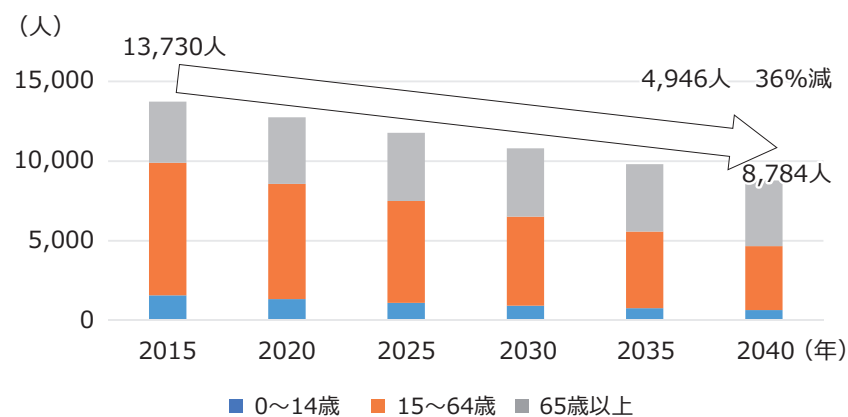




(出典：神川町公共施設等総合管理計画)



(出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)

施設の老朽化

町が所有している建物系の公共施設の3分の1は、昭和50年代に建てられ、総じて老朽化が進行しています。

昭和56年の建築基準法の改正により、それ以前に建設された建物の中には基準となる耐震性能を有しない建物が存在しています。

施設の老朽化

町の将来人口

現状のまま推移した場合の将来人口は、2040年には8,784人まで減少すると予測されています。

町の将来人口

公共施設 マネジメント

財政状況

老朽化

再配置

人口減少

建物寿命

建替え

複合化

少子高齢化

最近、全国各地の自治体で『公共施設マネジメント』の必要性が訴えられています。

皆さんはこの言葉、ご存知でしょうか？

公共施設

学校や役場、公民館等の住民が直接利用する施設のほか、道路や橋梁、上下水道などの設備も含む

マネジメント

管理、経営等の意味を持つ言葉

+

公共施設マネジメント

自治体が保有している公共施設等を総合的に管理・維持してゆく仕組みのこと

神川町でも公共施設マネジメントの必要性が高まっています。

まずは、神川町の公共施設が置かれている状況についてお伝えします。

町の公共施設

神川町は146の建物系施設を保有しており、総延床面積は約6万平方メートルです。

インフラ系施設については、道路が約172万平方メートル、橋梁が163箇所、配水管が総延長約12万5千メートルです。

施設名	延床面積 (㎡)	割合 (%)	施設名	延床面積 (㎡)	割合 (%)
行政施設	4,462.94	7.4	文化施設	4,627.94	7.6
防災関連施設	748.14	1.2	体育施設	2,140.78	3.5
教育施設	24,285.74	40.1	コミュニティ施設	4,587.93	7.6
公営住宅	4,267.83	7.0	その他普通財産	3,343.16	5.5
産業振興観光施設	5,593.78	9.2	公園緑地	494.14	0.8
医療福祉施設	4,082.51	6.7	公衆衛生施設	1,994.24	3.3

(出典：神川町公共施設等総合管理計画)

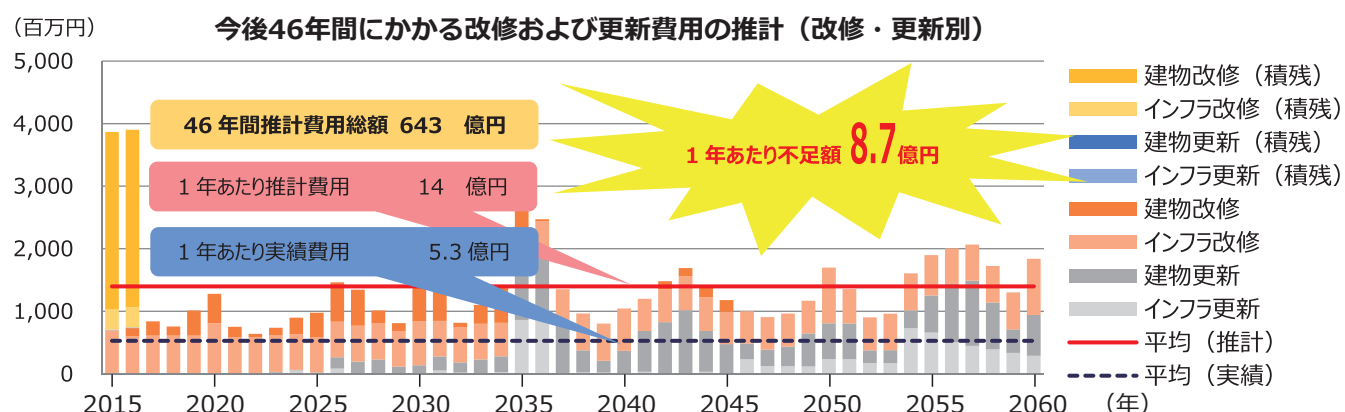
※神川町役場については旧庁舎のデータとなります。
※端数処理の関係で合計100%になりません。

将来負担費用と 財源の見込み

町が保有するすべての公共施設を改修・更新した場合には、2015年から2060年までの46年で643億円(1年あたり14億円)が必要と推計されています。

これに対し実際に改修・更新に充てられる費用の上限は、2006年度から2014年度の実績の平均値から5.3億円と算出されます。

必要とされる14億円からは、1年あたり7.7億円の不足となってしまう。



(出典：神川町公共施設等総合管理計画)